受付番号

（25－　　）

令和7年　　月　　日

一般財団法人日本デジタル道路地図協会

理事長　殿

令和7年度　研究助成申請書（1ヶ年）

研究代表者は、一般財団法人 日本デジタル道路地図協会の「令和6年度研究助成に関する募集のお知らせ」の内容について承知して、別紙1のとおり申請いたします。

|  |
| --- |
|  |
| 研究機関 | 名称 |  |
| 所在地 | 〒 |
| 代表者 | (ふりがな)氏名 |  |
| 年齢 | 　　　　　　歳　　（2025年4月1日現在） |
| 所属及び職位 |  |
| 連絡先 | TEL |  |
| E-mail |  |
| 研究体制 |  |

※本紙は、別紙１の電子データと共に事務局へ電子メールにて送付下さい．

1. 研究分野及び題目

＜別紙１＞

|  |  |
| --- | --- |
| 研究分野 | 該当するものにチェック☑をいれてください。 |
| □ （Ⅰ－１） DRM-PFを利用した研究テーマ□ （Ⅰ－２） 三次元点群データ等を利用した研究テーマ□ （Ⅰ－３） その他の道路DXに該当するテーマ |
| □　（Ⅱ－１）情報収集や資料収集の方法に関する研究□　（Ⅱ－２）データ作成方法に関する研究□　（Ⅱ－３）位置精度及び鮮度向上に関する研究□　（Ⅱ－４）応用システムの高度化に関する研究□　（Ⅱ－５）利活用に関する研究□　（Ⅱ－６）新しい概念や形態に関する研究□　（Ⅱ－７）標準化（ISO化）に関するテーマ□　（Ⅱ－８）⾃動運転と道路地図に関するテーマ□　（Ⅱ－９）その他、デジタル道路地図に関する研究 |
| 研究題目 |  |
| キーワード |  |

1. 研究内容

|  |
| --- |
| 〔研究の目的〕* 200字以内で簡潔に記載ください。
 |
| 〔研究のゴール〕* 200字以内で当該研究（フィジビリティスタディ）が達成しようとする成果を簡潔に説明してください（図は一枚に限って掲載可能です）。
 |
| 〔研究の社会貢献〕* 200字以内で当該研究（ビジネス）の社会貢献（社会的意義）を簡潔に説明してください（図は一枚に限って掲載可能です）。
 |
| 〔研究の学術的意義(着眼点の独創性・新規性)〕* 各200字以内で簡潔に説明してください（図は一枚に限って掲載可能です）。
1. 独創性
2. 新規性
 |
| 〔研究方法〕※研究フロー図（フィジビリティスタディ・フロー図）を示し、フローに従い研究方法又はフィジビリティスタディの方法を2000字以内で簡潔に説明してください。※研究助成募集要領5. により当協会より貸与したデータを必ず活用し、そのことを明記してください。 |
| 〔DRM-DBまたはDRM-PFの活用（必須）〕※DRM-DBまたはDRM-PF（P-ID、API）、三次元点群データ等の利用する方法を具体的に明記してください。 |

1. 研究計画（研究フローの項目について，線表で記載してください）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 月項目 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

1. 申請する助成金額及び内訳

|  |  |
| --- | --- |
| 助成品目 | 消費税抜き金額(千円) |
| 申請する助成金合計額　　　　　　内訳（具体的な人件費及び品目を明示してください）研究人件費・協力者謝金・補助者謝金旅　費・国内旅費・海外旅費機械・器具・備品費作業委託費借料会議費資料費印刷・複写費通信・運搬費消耗品費その他の諸経費※翌年度に行う「研究助成成果報告会」に係る宿泊費及び交通費の計上を行い翌年度に繰越してご使用下さい。 | 　　　　　　　　　　　　　千円 |

※以下の①～⑦の経費は助成対象となりません．

① 研究担当者の人件費、及び研究機関において通常、税務上の資産として計上される建物等施設等に係る経費、外注により作成した成果品が税務上の資産として計上される場合の外注費、或いは研究機関の運営に係る間接経費

② 机、いす、複写機、パソコン、ソフトウェア等、研究機関において通常、税務上の資産として計上される備品や物品を購入するための経費（10万円未満の物品は除く）

③ 単価10万円未満の同一物品を複数個購入する場合，複数個の合計金額が助成金総額の40％を越えないこと

④　データ購入費は助成金総額の60％を越えないこと

⑤ 助成研究遂行中に発生した事故・災害等の処理のための経費、及び保険期間が助成研究期間を超える保険料

⑥　前払い費用等のうち、債務が助成研究期間中に確定しないもの

⑦ その他、間接経費として計上される経費

1. 研究成果の発表予定（ビジネス展開・学会発表の予定）

|  |
| --- |
| いつ頃：　　　　　　　年　　月頃学会等発表先（プレス発表やリリース計画等）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　発表方法（製品名/サービス名等）：　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 |

1. 本研究に関する主な研究業績（５年以内の代表的論文、著書など）

|  |
| --- |
|  |

1. 特記事項（特記事項があれば記入してください。）

|  |
| --- |
|  |

―――以下余白―――